

有 珠 山

○ 火山活動評価：静穏な状況

火山活動に特段の変化はなく、静穏な状態です。

○ 概況

・ 噴煙活動（図2）

西山西麓火口群 N-B 火口の噴煙活動は静穏な状態で推移しており、噴煙の高さはおおむね 100～200m で推移しました。金比羅山火口群ではごく弱い噴気が時々観測され、特に変化はありませんでした。

・ 地震活動（図2、図3、表1）

火山性地震は1日あたり0～4回と少ない状態で推移し、地震活動は低調な状態で経過しました。火山性微動は観測されませんでした。

・ 地殻変動（図4、図5）

GPS 連続観測では、火山活動の高まりを示すような変動は認められませんでした。

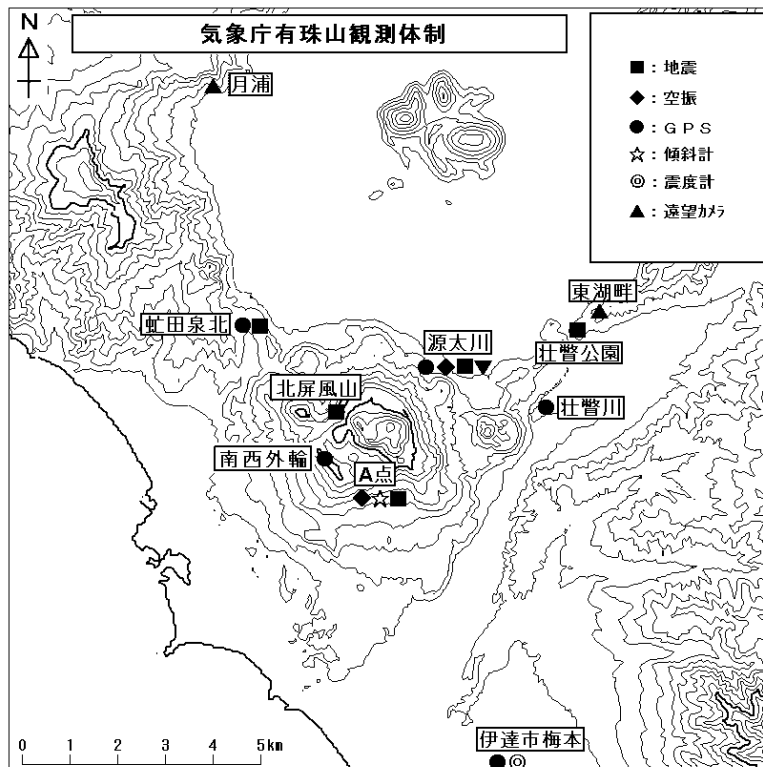


図1 有珠山火山観測点配置図

資料中の地図の作成に当たっては、国土地理院長の承認を得て、同院発行の『数値地図 50m メッシュ（標高）』を使用しています（承認番号：平17総使、第503号）。

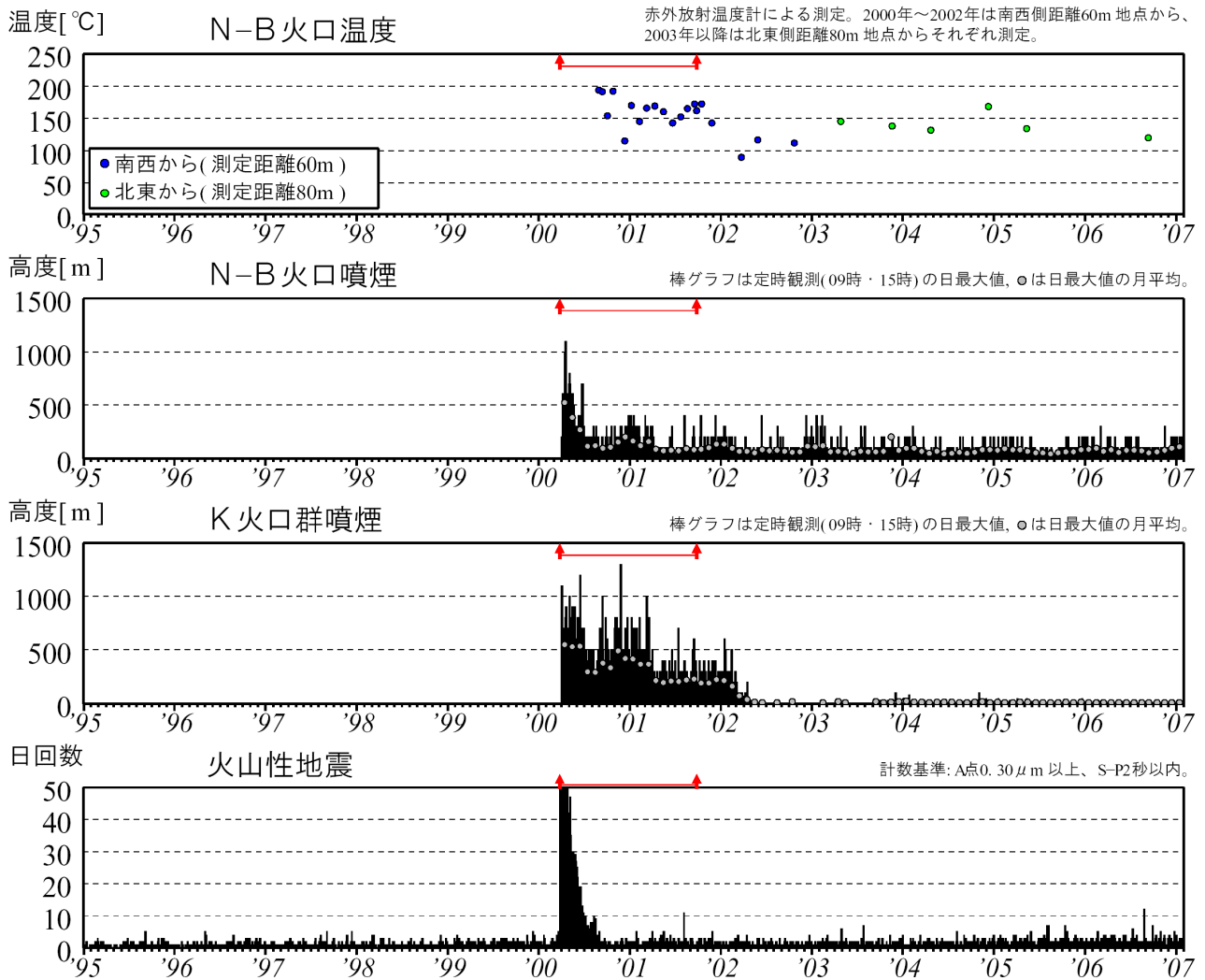


図 2 有珠山 最近の火山活動経過図（1995 年 1 月～2007 年 1 月）

↑印で挟まれた期間は 2000 年噴火活動期

・ 2000 年 9 月以降、地震回数は 1 日あたり概ね 5 回以下で推移しています。

表 1 有珠山 地震・微動の月回数（A点：図3のUSUA）

2006～2007年	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月
地震回数	34	40	35	29	32	35	34	40	34	33	37	40
微動回数	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0

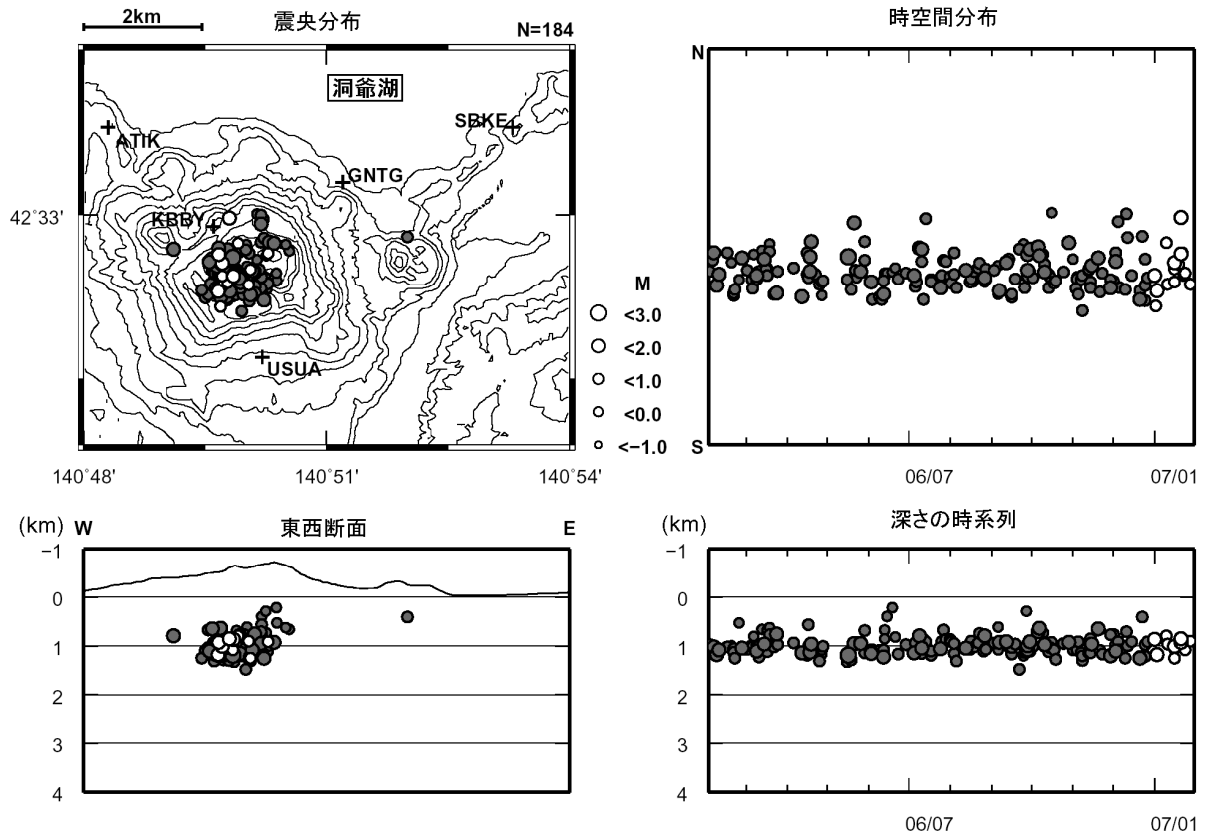


図 3 有珠山の震源分布図（2006年2月1日～2007年1月31日、+は地震観測点）

○印は今期間（2007年1月）の震源

●印は前期間までの11ヶ月間（2006年2月～2006年12月）の震源

・前期間までの震源は山頂部直下の浅い所（山頂から深さ1.5km付近）に集中しています。今期間に求まった震源もこの領域内に分布しています。

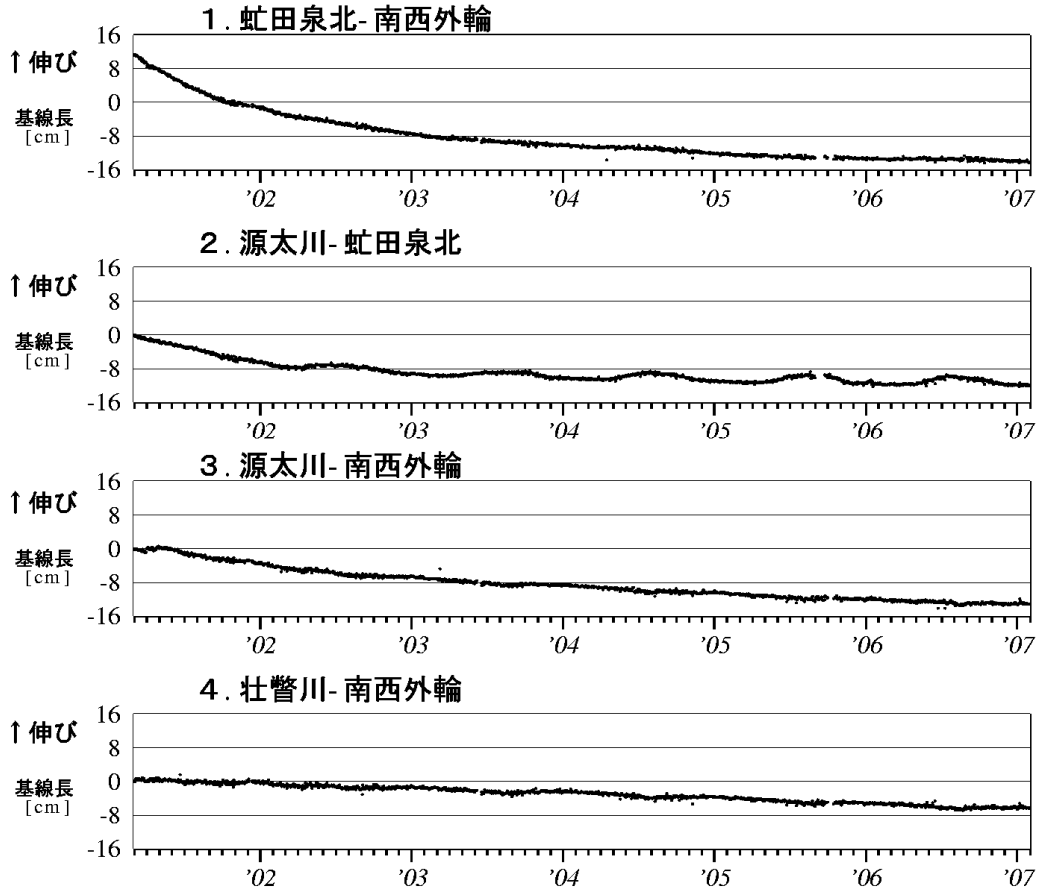


図 4 有珠山 GPS 連続観測による基線長変化（2001 年 3 月～2007 年 1 月）
 グラフの空白部分は欠測
 図 4 の 1～4 は、図 5 の GPS 基線①～④に対応しています。

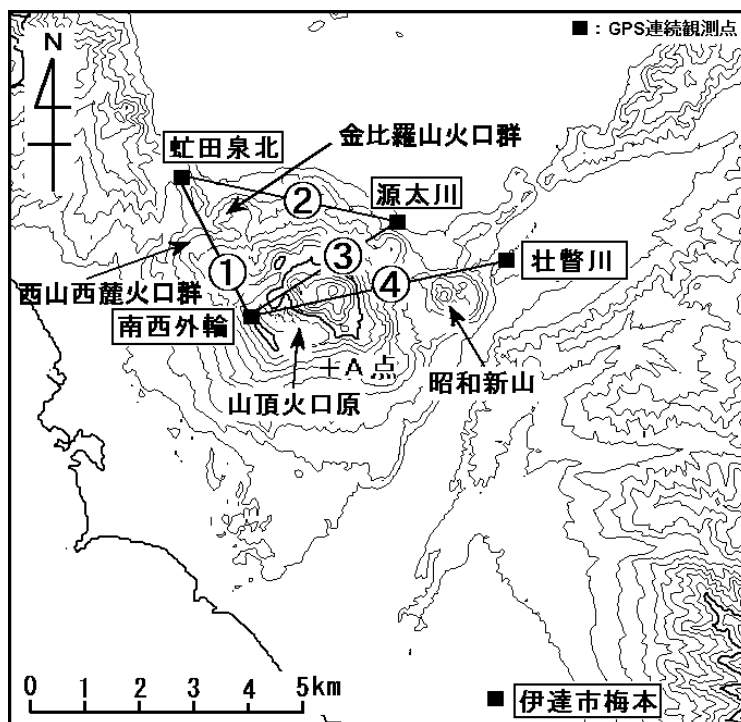


図 5 有珠山 GPS 連続観測点配置図